

働き方・休み方改善 ハンドブックのご案内

多様性に基づく成長とさらなる地域貢献へ

金融業(地方銀行業編)



行員が自己研鑽をすることが
できる時間を
確保するためには、…

人材が定着する
魅力的な職場にするには
どうしたらいいだろう



女性の活躍促進を
図るためには、
残業を削減しなければ

働き方・休み方の改善の取組事例を参考に
職場環境の見直しを行いましょ

- ・時間外労働の抑制と収益性の両立を図るとのビジョンの下、
取組を続けている事例
- ・相続事務や電話対応業務を集約し、
営業店の業務を減らしている事例 など

▼ハンドブックのダウンロードはこちらから▼

<http://work-holiday.mhlw.go.jp/handbook/index.html>





働き方・休み方の見直し 4つの体系と8つの項目



取組項目ごとに、企業における具体的な取組事例を紹介します。

1. Vision

その1 方針・目標の明確化

「トップが取組姿勢を示す」(千葉銀行)

「頭取からのメッセージを盛り込んだ
ポスターを全店配布し取組促進」

(常陽銀行)

など

2. System

その2 改善推進の体制づくり

「多様性に根ざした推進体制」(伊予銀行)

その3 改善促進の制度化

「朝型勤務の推奨と深夜勤務抑制の取組」
(七十七銀行)

その4 改善促進のルール化

「電話禁止時間ルールの設定」

(山陰合同銀行)

など

4. Check

その8 実態把握・管理

「長時間労働の原因の早期把握」(筑邦銀行)

「対面コミュニケーションによる
所定時間外労働の申請・承認」

(横浜銀行)

など

3. Action

その5 意識改善

「『チャレンジ! マイナス30分運動』による
意識づけ」(北陸銀行)

その6 情報提供・相談

「退行時間の実績還元・目標設定化」
(北海道銀行)

その7 仕事の進め方改善

「BPRの推進」(百五銀行)

「支店の状況に応じた効率化の
検討と実施」(八十二銀行)

など